

平成28年3月14日

まちづくり委員会資料

請願の審査

請願第17号 高速鉄道3号線の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘間）に
関する請願

資料1 川崎市総合都市交通計画及び交通政策審議会について

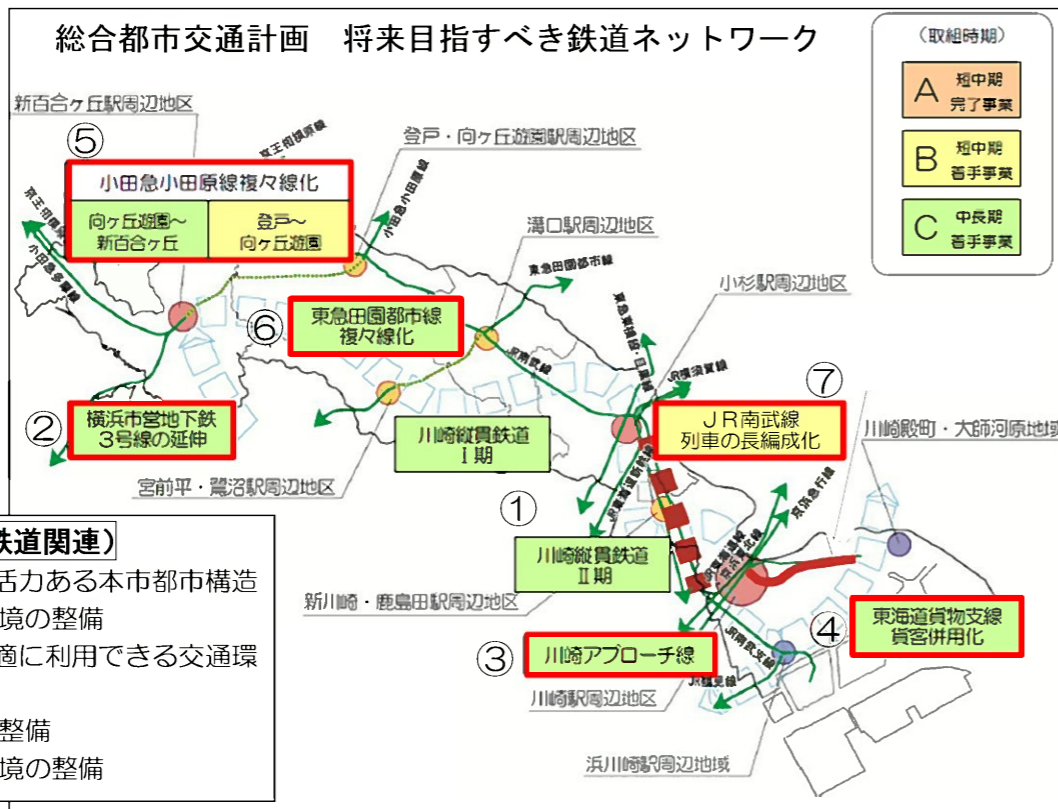
資料2 横浜市営地下鉄3号線延伸の概要

まちづくり局

1 川崎市総合都市交通計画及び交通政策審議会の概要

【川崎市総合都市交通計画について】

- 最新データを基に本市の交通課題を分析し、将来像を踏まえて課題解決に向けた交通政策の目標を定めた上で、目標達成のために必要な鉄道路線を、整備を目指す路線として位置付けたもの



本市交通政策の目標(鉄道関連)

- 首都圏機能の強化及び活力ある本市都市構造の形成に向けた交通環境の整備
- 誰もが安全、安心、快適に利用できる交通環境の整備
- 災害に強い交通環境の整備
- 地球にやさしい交通環境の整備

…交通政策審議会に提案した路線

【交通政策審議会(国土交通省)について】

- 国土交通大臣の諮問に依りて交通政策に関する重要事項を調査審議することを目的に設置
- 概ね15年後を見据えた、東京圏における鉄道計画のマスタープランの策定に向け、審議が進められている(平成27年度中に答申予定)
- 自治体等における、今後の鉄道路線の 신설・改良などに関する考え方を把握するため、具体的な事業の提案等について、昨年夏にアンケートやヒアリングが実施された

【交通政策審議会に対する事業の提案について】

- 審議会に対しては、①の川崎縦貫鉄道を除く、次の6路線について提案を行った。

■新線

- ②横浜市営地下鉄3号線延伸【あざみ野～新百合ヶ丘】
- ③川崎アプローチ線【川崎～浜川崎】
- ④東海道貨物支線貨客併用化【品川・東京テレポート～桜木町】

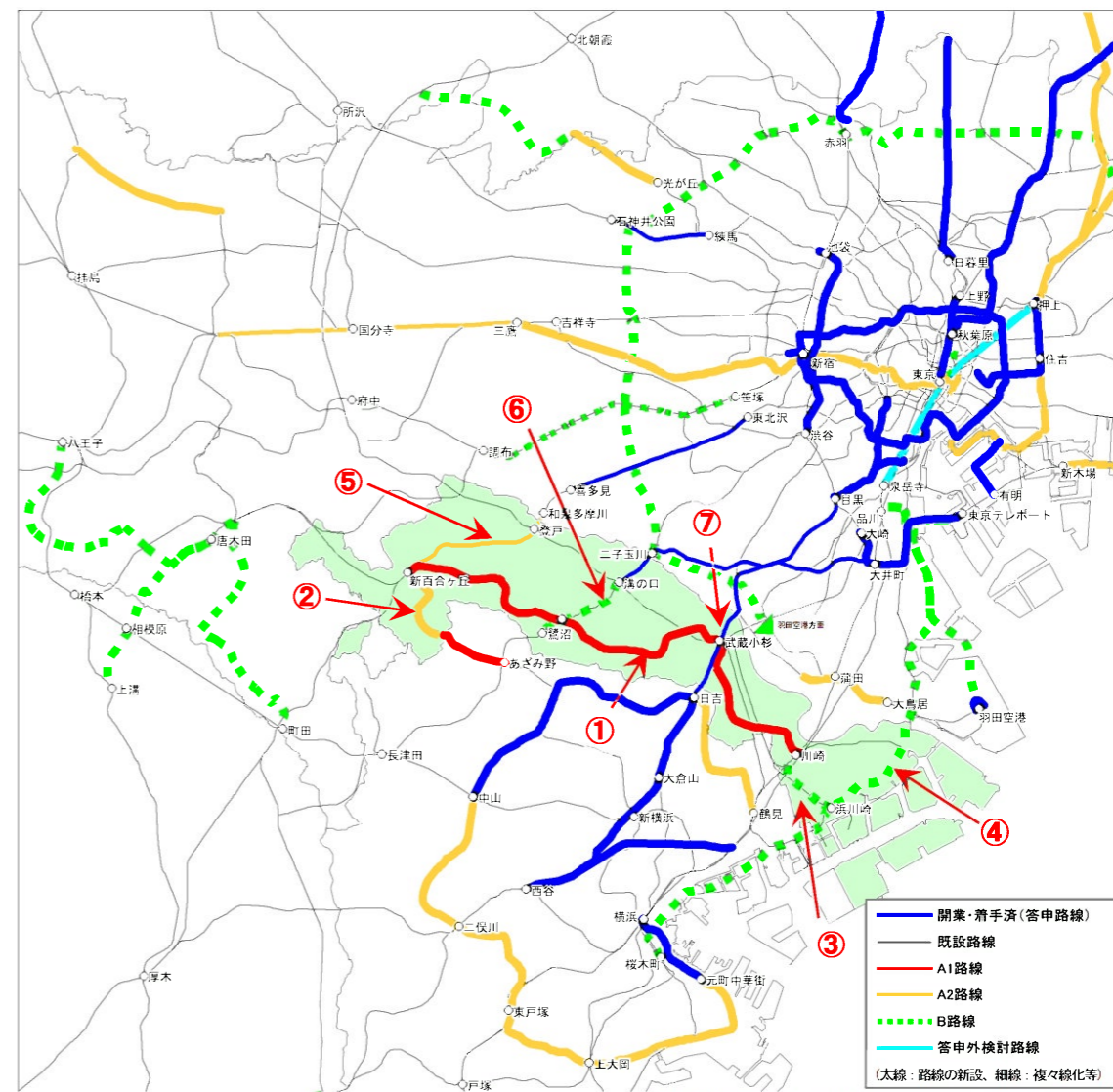
■線増

- ⑤小田急小田原線複々線化【登戸～新百合ヶ丘】
- ⑥東急田園都市線複々線化【溝の口～鷺沼】

■改良

- ⑦JR南武線輸送力増強(長編成化)

2 旧運輸政策審議会(現交通政策審議会)第18号答申(平成12年1月)路線の現状



※川崎縦貫鉄道の答申時ルートは元住吉経由

- ◇ A1 目標年次(H27)までに開業すべき : 開業・着手済(26路線) 未着手(5路線)
- ◇ A2 目標年次(H27)までに整備着手すべき : 全路線未着手(13路線)
- ◇ B 今後整備について検討すべき : 全路線未着手(12路線)

■川崎市内の答申路線の現状

答申路線名	区間	答申	現状
①川崎縦貫高速鉄道(仮称)の新設	新百合ヶ丘～川崎	A1	未着手
②横浜3号線の延伸(川崎市域部分)	すすき野付近～新百合ヶ丘	A2	未着手
③川崎アプローチ線(仮称)の新設	浜川崎～川崎	B	未着手
④東海道貨物支線の旅客線化等	品川・東京テレポート～桜木町	B	未着手
⑤東京9号線(小田急小田原線)の複々線化	和泉多摩川～新百合ヶ丘	A2	未着手※
⑥東京急行電鉄田園都市線の複々線化及び大井町線の改良	大井町～溝の口 溝の口～鷺沼	A1 B	開業済 未着手
⑦東京急行電鉄東横線の複々線化及び目蒲線の改良	目黒～日吉	A1	開業済

■参考

- 東京都内: A1路線は、全て開業・着手済
- 横浜市内: A1未着手路線は、横浜3号線延伸横浜市域部分(あざみ野～すすき野付近)のみ

※一部区間は3線で暫定整備済

1 横浜市営地下鉄3号線の概要



【横浜市営地下鉄1・3号線の概要】

- ・ 3号線 あざみ野～関内 20.7km
 - ・ 1号線 関内～湘南台 19.7km
- の2路線をブルーライン（40.4km）として一体的に運行

【延伸区間】

- ・ あざみ野～すすき野付近～新百合ヶ丘 約7km

2 これまでの経緯

年月日	内容
平成12年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ● 運輸政策審議会答申第18号 「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」 ・ 横浜3号線の延伸 [あざみ野～すすき野付近～新百合ヶ丘] ・ あざみ野～すすき野付近（横浜市域）：A1路線 ・すすき野付近～新百合ヶ丘（川崎市域）：A2路線
平成23年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ● 連携協力に関する覚書締結（※下記参照） 横浜市営地下鉄3号線延伸及びJR南武線連続立体交差化について、相互に連携・協力する。
平成25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「川崎市総合都市交通計画」を策定し、横浜市営地下鉄3号線延伸をC事業（20年以内に着手を目指す事業）に位置付ける。
平成26年2月	<ul style="list-style-type: none"> ● 「次世代の総合的な交通体系の構築に向けた検討 横浜市における鉄道を軸とした交通体系について」とりまとめ【横浜市都市整備局】 ・ 広域的な交通利便性の向上が期待される路線であり、かつ事業としての採算性が比較的高いことから、優先度の高い路線とする。 ・ 事業中の神奈川東部方面線（相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線）の進ちょく状況などを踏まえ、事業化に向けて取り組む。
平成27年夏	<ul style="list-style-type: none"> ● 両市が連携して交通政策審議会へ提案を行う。
平成30年度内	<ul style="list-style-type: none"> ● 相鉄・JR直通線（西谷～羽沢：約2.7km）開業予定
平成31年4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 相鉄・東急直通線（羽沢～日吉：約10.0km）開業予定

【新たな交通体系検討に向けた横浜市と川崎市の連携協力に関する覚書（抜粋）】

平成23年6月6日

（情報交換）

第1条 両市は、両市域に関わる鉄道路線及び幹線道路などの交通体系について、適宜、情報交換を行うものとする。

（相互協力）

第2条 両市は、前条の交通体系のうち、両市にまたがる「運輸政策審議会答申路線」及び「JR南武線連続立体交差化」に関する検討・調査を行うにあたり、相互に協力するものとする。

2 両市長は、前項の協力を円滑に行うため、両市の関係職員を必要な検討・調査に参加させるものとする。

（期限）

第3条 本覚書に基づく両市の連携協力の期限は、新たな交通体系の策定に向けた両市の検討が終了するまでとする。